

その他の建設業－その他における作業床、歩み板を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
3	16~17	機材センター内でシート片付作業中、足元の段差に気づかず足を置き足首を捻り、足首を負傷した。	61	1~9
3	15~16	プール室の窓ガラス清掃および付随作業を行っていた被災者が、作業員全員による工事終了の確認のあと、資機材の片付けを開始していた作業者とは別に単独で作業するため、設置してあった片付け前の高さ約4.0mの脚立を用いて窓枠上へ移動し、そこを歩行中、あるいは作業中に、何らかの原因で高さ約4.0mの床面に墜落し被災した。	49	50~99
3	16~17	被災者は、親網展張作業をしていた同僚の応援を行おうと、支柱（スケール）に左手を掛け、右手でスリングを支柱に巻きつけるよう同僚に投げたとき、左手で掴んでいたスケールが剥れ、バランスを崩し、約8mの高さから墜落した。吸収塔入口部が開口状態で安全帯も使用していなかった。尚、吸収塔入口部は照明設備を設置しておらず、マンホールからの射光と同僚のヘッドライトのみで暗い環境であった。	18	10~29
5	11~12	一輪車でモルタルを運搬中、段差のある不安定な場所でバランスを崩し、左足首を捻挫した。	24	10~29
6	12~13	解体先現場にて、庇を解体中、上部から足を滑らせて転落した。	31	1~9

7	16~17	営業所内の宿舎脱衣所において、風呂の準備を行っていた。すのこを指定の場所へ置くためにすのこを持ち移動中、床が濡れていたこともあり、転倒。後頭部を強打したものである。	48	~ 49
7	16~17	会社が資材置場にて資材を移動させようとした際、資材が重かったためバールを資材の下部にかけて引きながらずらしていたところ、バールが資材と地面の間にはさまってしまった。バールを引き抜こうと力を入れて引いたところ、足場が不安定だったため後ろに倒れてしまい、勢いで後においてあった機械に右手の小指をぶつけて負傷した。	50	~ 29
7	15~16	作業場にてプレハブの撤去作業中に、敷地内のマンホールに足が引っ掛かり転倒し、右足首を痛めた。	66	~ 9
10	9~10	当社内事務所下廃材置き場において廃材の分別仕分けを行っていた。左足を廃材上に載せた際、足場が悪くバランスを崩し廃材上に倒れた。その下にあったアンカーボルトに接触し引っ掛けた状態で負傷したものの。	66	~ 9
10	11~12	当社倉庫内にて、仮設資材の整理作業中、足場支柱を立てる部材のジャッキ(3.1kg、60cm)を7~9本かかえて移動させる作業中、バランスを崩し、転倒した。部材を持った左手を下にあった部材に挟み負傷した。材料を多く持ちすぎたこと、転倒した時に材料をはなさなかったことが負傷の原因と考えられる。	28	~ 29
11	11~12	発掘現場にて、しゃがんで図面作成中に担当者に声をかけられ、立ち上がろうと後退した時、すぐ後ろにあった小穴(直径30cm、深さ20cm)で足が滑って転び、右手首を骨折した。	63	~ 49
11	16~17	自社工場において、作業中に鉄板上を移動していて、バランスを崩し転倒し、左手をついた際に、同部を負傷した。	52	~ 9
12	11~12	1階便所にて内装解体作業を行っていた時、室内が仮設照明で暗い中で、ピットに通じる床点検口のフタが開いている事の発見が遅れ、右足を突っ込み、反動で転倒し、腰を床に痛打した。腰は痛かったが作業を夕方まで継続し、翌朝あまりに腰が痛いので病院を受診した。	75	~ 9

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html